

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00～20:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	0人	9人

前回の改善計画	新規利用の際には、契約や相談のタイミングにもよるが、5日程度は前に情報を提示した上で、ミーティングを実施して、内容のすり合わせや支援内容の共有を図る。この流れを基本として、安心して初期支援に当たれる環境を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	5日程度前に情報を提示することは概ねできていたが、ミーティングによる共有は出来ていなかったり、やっても1回のみの実施で、その場にいないスタッフへの対応が疎かになっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	1	8	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	8	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	3	6	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 資料を通じて事前の把握を行えている。 - 短時間でも職員同士の情報共有は行えている。 - サービス回数過多にならないようコントロールした中で、最大限の支援を行えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- ミーティングの実施が出来ていない。 - 事前の情報共有の機会が乏しく、限られた人数のみでしか行えていない。 - 皆が時間を合わせてミーティングすることが困難で、タイミングづくりが課題となる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々のミーティング実施時間として、15時のおやつ提供タイミングで5分程度行っていく。当日の確認事項や新規お客様の情報共有の他、現状の困難ケースへの対応方針確認等に活用して統一したケアに繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00～20:00)
2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	8人	0人	9人

前回の改善計画	ミーティング時間を捻出し、支援前の情報共有に加え、初期段階を見た上でのニーズ把握やその実現に向けたケア内容の共有を図っていく。日々の関りでもニーズ把握を意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティング機会が少なく、事前共有が困難だった。また、関わりの中で聞き得た情報も個人どまりになってしまうケースも見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	3	6	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	4	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	7	0	9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	0	8	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・可能な範囲で本人の目標への対応は行っている。 ・実際に関わり感じたことや、上手く行った事・反対に上手く行かなかったことを共有するために、会議での発言やノート記入などを行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ニーズ把握が一部のお客様にとどまってしまう、全体的にニーズを聞き出すための関りが出来ていない。 ・本人の目標を目指した関りやケア内容の共有が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ご本人の目標よりも家族の目標が中心になってしまっている。ご本人・家族双方が同席したうえで目標を聞き取っているケアマネジャーの情報を全員で共有するよう、仕組み、意識を強化し、目標把握・実現に努めていく。「1」でも挙げた、15時のミーティングも活用する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00～20:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	0人	9人

前回の改善計画	サービス内容の見直しについて、体調の変化によるその場の対応だけでなく、ニーズを把握した上で必要なサービスに切り替えること。そのためのミーティング機会の確保。
前回の改善計画に対する取組み結果	体調に応じた見直しや、突発的な用事などへの対応はかなり柔軟に行えていた。反面、生活全体を見て、必要性の検討を計画的に行うことはほとんど出来ていなかった。やはりミーティング時間確保が課題となる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	8	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	4	3	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	0	8	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	3	5	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調変化に応じたサービスの見直しは行えている。特にコロナ禍以降、37.5℃以上の方は利用禁止という明確な基準が出来たことにより、無理なく「通い」から「訪問」に切り替えることがしやすくなった。 ・体調などの変化に関する情報は口頭以外でも申し送りノートなどを活用し、共有出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティング時間が少なく共有が困難になっている。 ・サービス内容を柔軟に切り替える判断が出来る職員とそうでない職員の差が大きい。切り替え判断の基準なども必要かもしれない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・サービスの見直しについては、内容が適切か、回数過多になっていないかといった視点で、適宜見直すことが出来るよう、会議やミーティングの場で検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00～20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	0人	3人	6人	9人

前回の改善計画	必要なお客様限定にはなるが、近隣住民や民生委員といった地域での暮らしに欠かせない方のデータを共有し、チームとしての関りに繋げる。
前回の改善計画に対する取り組み結果	ほとんど行えていない。一般介護職員レベルでは、地域の方との連携は難しいし、連携するという考えに結びつかない面がある。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	2	5	2	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	2	5	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	2	5	2	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	0	5	4	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族との連携の中で、直接接していない時間帯の過ごし方などを把握できる点はある。反対に施設での過ごし方などを報告し、ご家族の知らない面に気づいて頂くこともあった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご本人の生活支援に必要な地域資源の把握は困難。 ・運営推進会議を活かした関係作りが不十分。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域交流委員会の活動内容を今までの行事計画中心なものから、一人ひとりの生活に視点を合わせて、必要な資源の把握に広げていく。そこで得られた情報を基に、管理者やケアマネも加わり幅広い支援に繋げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00~20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	5人	8人

前回の改善計画	地域資源の活用を行っていく。まずは地域包括支援センターに相談を持ち掛けることで、自事業所だけでは対応が困難なケースに対しても、適切な環境づくりを実現する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域包括支援センターへの相談持ち掛けは1回のみで、ほぼ自事業所だけで対応しようとしていた。その結果として、支援の幅が狭く、質・量ともに不十分な内容になっていたことは否めない。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	0	4	4	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	5	2	2	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	1	6	2	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	8	0	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- お客様のニーズや状態に応じた柔軟な支援が行えている。 - 地域包括支援センターからは定期的に利用相談を頂いており、関係性は保てている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域資源を上手に活用した支援が行えていない。 - 地域包括支援センターとの連携もサービス介入時が中心で、継続的な協議や協力体制には至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域包括支援センターを中心として地域の資源を活かし、自事業所だけで支援を完結しない意識、体制を構築する。その過程では家族の介護参加が不十分な方への呼びかけも強化し、課題を共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00~20:00)
6. 連携・協働	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	4人	3人	9人

前回の改善計画	町内の清掃だけでなく避難訓練や祭りなどにも参加していく。同時に、なごみでの行事等に近隣の方も参加する取り組みをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	なごみからの参加はある程度行えているが、なごみの行事に地域の方をお呼びする取り組みは全く進められなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	0	2	3	4	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	6	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	1	3	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	4	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・町内清掃、近隣保育園との交流。また、消防訓練中の消火器使用訓練で、通りかかりの方にも声掛けし、参加していただくことが出来た。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域での会議参加に関しては、管理者等限られた職員のみ参加となり、その内容も一般職員には伝わっていないため、中々地域との連携という意識共有には結びついていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 令和7年より、小規模多機能部会の勉強会で一般職も参加する取り組みが始まるので、なるべく多くの職員に出席してもらい、他施設との交流の場を設ける。そこでの交流機会を持ち、他施設の取り組みを学ぶことで、取り入れられる内容を検討することに繋げていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00～20:00)
7. 運営	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	4人	2人	9人

前回の改善計画	
会議、ミーティングを開催できる工夫をし、活発な意見交換の場を作っていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
会議は日中の業務中に行うのはやはり困難で19時からの開催としたが、多くの職員が参加しやすい環境となった。出席者が固定されているので、より多くの職員が興味を持てる内容を考えていく。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	2	6	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	4	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	0	6	2	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	3	4	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・会議やミーティングでは積極的な意見を出すことで、活発な場づくりに貢献できた。 ・会議を通じ、サービス改善だけでなく、職員の労働環境にも目を向けることが出来るようになった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・適時のミーティングを行えておらず、課題発生から解決までの時間を要することが見られた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域との関わりづくりが乏しい。地域交流委員会の活動を見直し、地域資源の開拓を通じ自事業所だけの考え方にとらわれずに幅広い視点でのサービス提供に努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00～20:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	6人	1人	9人

前回の改善計画	社内研修の充実。月刊デイを用い、準備負担を軽減したうえで、気軽に行えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	月刊デイではないが、動画視聴方式で研修の定期開催が出来た。参加率の向上と身に付けたことの振り返り策強化を今後の取り組み課題とする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	4	3	2	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	4	3	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	1	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	1	7	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・管理者側から呼びかけた社内研修以外にも、感染症委員会や虐待防止委員会により自発的な研修会の開催が行えたことは、大きな進歩といえる。 ・動画スタイルにより、日中の参加しやすい時間帯にも実施でき、参加しやすくなった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・外部研修参加が限られた特定の職員のみとなっている。情報提示した上で、自発的な参加を待つだけでなく、必要な研修への派遣をもっと行っていかななくてはならない。 ・地域連絡会については、一般職員レベルでは情報がなく、自発的な参加は困難。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・現在の動画視聴スタイルの研修を継続するとともに、学んだ内容をしっかり自身や組織内に落とし込めるよう、視聴後の学習ツールを作成していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月20日(19:00～20:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	中嶋、戸田、松原、菊地、上田、色川、新道、田中、園田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	4人	3人	8人

前回の改善計画	事業所内での虐待だけでなく、家族による介護放棄といった生活環境が不適切な状態への関与を、地域包括支援センターとも協力しながら強めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	「ごみ屋敷」の状態で衛生的に不適切な環境の家庭に対し、整頓の働きかけを行い、その過程では地域包括支援センターからの助言も受けたが、結果的に家族が動きを取る前に契約解除となり、成果に繋がらなかった。それ以外では、動きが取れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	3	0	0	9
②	虐待は行われていない	5	4	0	0	9
③	プライバシーが守られている	2	7	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	3	4	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	6	1	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 身体拘束、虐待、プライバシー配慮に関しては、高い意識で守られている。 - 接遇面も含め、お客様に寄り添い、尊厳を守った支援が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 家庭内(家族間)の問題まで踏み込んだ対応が取れていない。 - 成年後見制度は、家族管理が行われており、すぐに必要な方はいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所内での虐待がないのは当然の上で、家庭内の介護放棄や生活環境が不適切な状態などへの関与を強めていく。地域包括支援センターを中心として関係機関との相談持ち掛けも行いながら、より良い環境づくりに繋げていく。	